

2021  
12-3



## 「古代エジプト展」関連〈web〉版こどものイベント 「棺のもようをかいてみよう！」

- ワークシート配布期間：2021年12月28日～2022年2月27日
- 作品受付期間：2021年12月28日～2022年3月10日
- 館内展示期間：2022年2月8日～3月24日
- 作品掲載期間：2022年2月2日～現在掲載中
- 対象：どなたでも
- 配布場所：当館ウェブサイト「子どもプログラム」ページ、館内「子どもプログラム紹介コーナー」

- 用意するもの  
印刷したワークシート、筆記用具

- 1 「古代エジプト展」にやってきたミイラの棺（ミイラを入れるための箱）を見てみよう！  
古代エジプトの人達は死んだあともあの世で再び生き返りたいと考えていた。棺には、あの世にたどりついて生き返るためのおまもりや呪文がさまざまな模様によって表されている。展示中の棺にかかれた模様に着目し、それぞれの形や色にはどのような意味があるのかを知る。また棺の顔には、中に入っている人の理想の顔がかかっていることにも注目する。

(例) ホルスの目



…健康

(例) スカラベ（ふんころがし）



…復活（生き返ること）

(例) 青…ナイル川、空、いのち

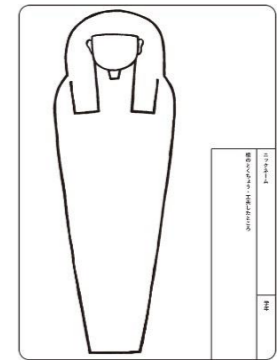
(例) 赤…砂ばく、火、血

### ■概要

展示してあるミイラの棺にどんな模様がかかっているか紹介し、それらの模様をヒントに形や色を工夫してオリジナルの棺の模様をかいてもらいました。  
作品の写真をメールで送ってもらい、館内やウェブサイトで紹介しました。

### ■2 ワークシートの棺の型にオリジナルの模様をかいてみよう！

- ①「ホルスの目」や「スカラベ（ふんころがし）」など、古代エジプトで用いられたおまもりや、自分で考えたおまもりを入れながら自由に模様をかく。
- ②どこに何色を使うか考える。



### ■作品介绍

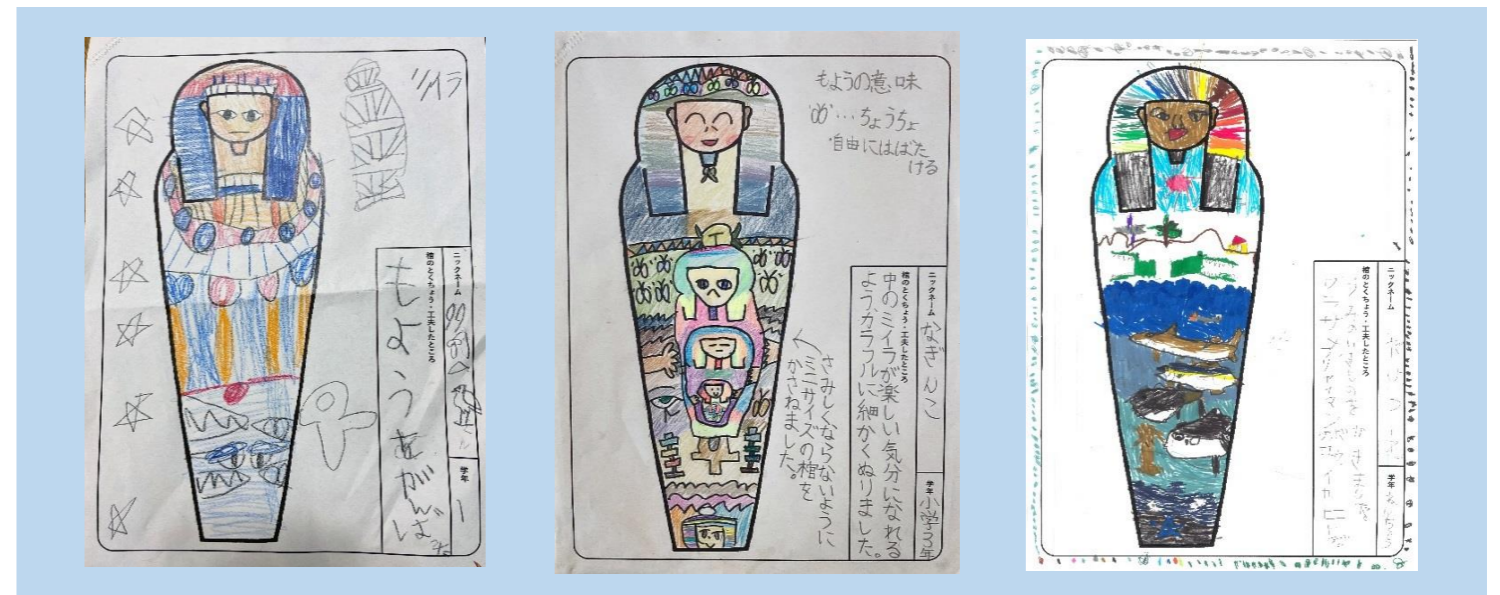
作品をたくさん送っていただきました!!

古代エジプトの棺にかかっているおまもり以外にも星やバナナ、犬の肉球や野球ボールなど個性溢れる模様が集まりました。また、古代エジプトの文字「ヒエログリフ」を使ったり、神さまの像をかいたりした作品もたくさんありました。

赤・青・黄と鮮やかな色を組み合わせたものから、大事なところだけに赤色を使っているもの、わざと色褪せてたようにかいているもの、瞳を左と右でちがう色にしたものなど、色の使い方にもこだわりが見えました。また顔の表情もさまざまで、にっこり笑顔、ムスッと怒った顔、何を考えているのか想像させるような顔立ちのものなど、とても豊かに表現されていました。

子どもたちの声をそのまま紹介すると、「花が好きなのでたくさんかいた」「真ん中に金のスカラベをかいてかっこよくなった」「古いイメージだから明るくしてカラフルにした」「工夫したところは、ちゃんとおもいをこめてかいたこと」「コロナなくなれとヒエログリフでかいた」「あの世に行っても生き返れるように、髪の毛にふっかつい色の色をぬった」など、棺の特徴や工夫したところについても教えてくれました。

これらの作品は、「子どもプログラム」ページへの掲載に加えて館内にも展示しました。ずらりと並んだ棺の作品を前に多くの来館者が立ち止まり、「表情がかわいい」「細かくかいているね」など言いながら楽しんで見てくれました。



### ■まとめ

ウェブサイトだけでなく館内でもワークシートを配布したところたくさんの方にお持ち帰りいただき、予想していた以上に多くの作品が集まりました。作品とともに展覧会やイベントへの感想もおよせいただき、期間中メールをチェックするのが楽しみになりました。今回のイベントをきっかけに古代エジプト文明に興味を持ったり、好きだった人はさらに興味を深めたりしてくれていたら嬉しく思います。  
作品を送っていただき、ありがとうございました。